



みえの国観光大使：伊賀忍者特殊軍団阿修羅

第 3 回 「みえへの道」講演会 ～ 忍 者 と 道 ～



日 時 : 令和8年9月10日(木)18:30～19:45頃
場 所 : 「三重テラス2階」 コミュニティスペース
日本橋室町2-4-1
浮世小路千足屋ビル「YUITO ANNEX」
講 師 : 三重大学人文学部 教授 山田 雄司 氏

○定員:50名

事前申込みが必要(申込QR:裏面)

※先着順、入場無料

※記念品の「ゴム製手裏剣」配布

※申し込み方法:詳細裏面へ

○パネル展を併設

9月10日(木)

11:00～18:00

「三重を支える道づくり展」

○赤福餅のふるまい 10日午後 ※数量限定

三重県・(一社)三重県社会基盤整備協会 共催

お問い合わせ先:協会事務局 〒514-0004 三重県津市栄町1丁目891

Tel 059-271-8671、Fax 059-271-8672、E-mail:office@mie-shakikyo.or.jp



講師紹介 三重大学人文学部 教授 山田 雄司 氏

1967年静岡県沼津市生まれ。京都大学文学部史学科卒。筑波大学大学院博士課程歴史・人類学研究科修了。博士(学術)。1999年三重大学人文学部講師。助教授・准教授を経て、2011年より三重大学人文学部教授。三重大学国際忍者研究センター副センター長。国際忍者学会会長。専門は日本中世信仰史。2012年より忍者研究に携わり、日本各地の史料調査を行う。国内外で講演を行い、これまでの海外講演は27カ国100回以上。主な著書に『忍者の歴史』(KADOKAWA)、『忍者の精神』(KADOKAWA)、『忍者はすごかった』(幻冬舎)など。日本科学未来館・三重県総合博物館・名古屋市科学館等での忍者展監修、テレビ・映画等の忍者関連作品の監修・出演多数。

講演要旨

忍者といえば、伊賀・甲賀が有名ですが、南北朝時代から江戸時代にかけて、日本各地に忍者が存在しました。その中でも優秀だったのが伊賀・甲賀忍者だったとされます。そうした忍者の主な任務は情報を収集することでした。江戸時代になると、時には藩主から命じられて、遠いところまで赴いて状況を探り、報告することもありました。実際に忍者が各地を旅して記した日記が、松本の芥川家文書の中に残されています。

また、忍者にはさまざまな歩き方があったことが知られています。忍者は「早道」とも呼ばれ、長距離を走っていち早く情報を伝達しました。はたして忍者はどのような歩き方・走り方をし、またどのくらいの距離を歩いたり走ったりしたのでしょうか。史料に基づき考えていきたいと思ひます。

交通アクセス

東京メトロ銀座線・半蔵門線

「三越前」駅

JR総務線快速「新日本橋」駅

JR山手線・中央線・京浜東北線

「神田駅」より徒歩8分

申込方法



①スマートフォン・PC:

上記QRコードもしくは、<http://mie-shakikyo.or.jp>から、アクセスしてください。

②FAX: 下記入力フォームに記載のうえ、返信してください。FAX 059-271-8672

※受付確認のお知らせメールを返信いたします。入場の際お示しください。

※満席となり次第締め切りとし、受付終了といたします。

※緊急時対応等のため、電話番号もご記入ください。

お名前

TEL

メールアドレス